

問7-3 製薬会社に対して

No	問7-3 製薬会社に対して
1	薬害患者を持った家族の苦しみは、経済的にも精神的にも、一生背負って生きていかなければなりません。会社が倒産しても、救済に全力を上げて下さい。
2	S61年当時、この製剤によりC型肝炎になる可能性があるかと判っていたら、それは罪です。
3	利益ばかり考えないで、情報をもっと敏感に、絶対に薬害の被害が起こらないよう願います。
4	薬害発生0%が理想でも、薬も異物であり、副作用が出る可能性もありうると思います。しかし、使用前の検査などで、可否を判断するシステム及び副作用の説明も必要。臨床実験の重要性、リスク開示など、医師と患者のコミュニケーションが大切である。
5	利益を求めるだけでなく、もっとモラルを持って経営してもらいたい。命を大切に考えること。
6	人命を第一に考えてほしい。
7	利益優先が、薬害肝炎被害者を増大したと言える。製薬会社の良心を、国が指導するべきだと思う。
8	製造は慎重にしてほしい。人の命が第一です。
9	今後、このような薬で苦しむ事のないよう、十分に気をつけて薬を作してほしい。
10	害のある薬を世に出すことはダメ。それは常識です。
11	もっと早い時期に、使用を中止してほしい。
12	怨、怒
13	患者の気持ちになって、早い対応をしていただきたい。患者とその家族は、苦しんでいるのですから。
14	安全な薬剤の研究と使用を考え、二度と薬害を起こすことのないようにしてほしい。
15	問題があると判っていたら、絶対に使ってもらいたくなかった。
16	社会的に崇高な会社だと思っていましたが、患者や医療機関に責任を押し付ける、二枚舌の社会構造を直してほしい。
17	生命を救うのも薬であるけれど、薬は毒にもなる事を考えてほしい。大黒柱を失った被害者を、自分の事として考えてほしい。心ある仕事をして下さい。
18	許されないことだと思う。今後、絶対薬害が起きないようにしてほしい。
19	金もうけばかりで、安全を考えてほしい。
20	現在、和解していない患者への、一律保障を望みます。
21	命の大切さを考えてほしい。長い闘病生活を送って亡くなった主人は、さぞ残念だったと思います。私も残念でたまりません。
22	二度とこのような悲しい事が起こらないように、安全な薬を作してほしい。
23	社会的責任の自覚
24	大量殺人集団である。尊い人の命より、国と一緒に金儲け。このような企業に対して、法的制裁をしない日本の司法に幻滅を感じる。名前を変えて、またこんな会社が出るのであろう。失った大きなものを、どうしても返してほしい。
25	医療費全額、生活費保障全額
26	まず製薬会社、長年の実験研究を重ねてほしい。
27	十分な責任を取ったとは思えない。
28	国民はモルモット（実験材料）ではない。被害者が出たので、保障したではないかとの安易な無責任な考えでは、命は守れない。儲け主義では困る。他国の情報も先手先手で取り入れて、安心、安全な薬、製剤を開発、提供してほしい。

No	問7-6 委員会に対して
29	人のために役立ってほしいと思います。薬害は、大量殺人とあまり変わらないのではないかと考えています。
30	薬害の危険性を把握しながら、適切な対応を怠った事は、今でも腹立たしいです。
31	自社の利益のために、副作用のある薬を安易に出してほしくなかった。
32	二度とそういう薬を作らないでほしい。
33	薬を生業として利益を得ている以上、問題が発生した場合、しっかりと責任をとるという姿勢、営業方針でなければ廃業せよ。
34	早く危険性を明らかにすべきだった。
35	頭を下げに来てもらいたい。